

感染症週報

令和7年4月21日発行



小笠原での流行状況

第16週（4月14日から4月20日まで）

父島 感染性胃腸炎の報告がありました。

母島 特別な感染症の報告はありませんでした。

※ 5例以上発生時に実数報告としています

東京都全体での流行状況

第15週（4月7日～4月13日）

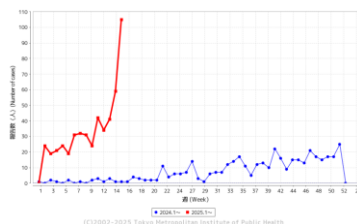
【警報・注意報】

なし

【ピックアップ】

全国的にも増加しています

・百日咳



高い水準を維持

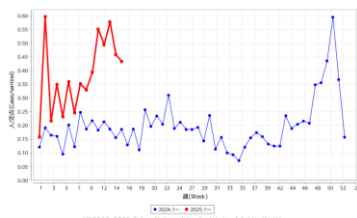
・感染性胃腸炎

（定点患者報告数 7.82）

若干高めです

・水痘

（定点患者報告数 0.43）



感染症メモ

参考、出典：厚生労働省HP、国立健康危機管理研究機構、Meiji Seika ファルマ、国立感染症研究所HP、東京都感染症情報センター

人類がワクチンによって撲滅することのできた病気に天然痘があります。天然痘は感染力が非常に強いうえ致死率が高く、治癒しても顔面に瘢痕（あばた）が残ってしまうため、非常に恐れられていました。1663年にはアメリカインディアンの約4万人の部落が天然痘によって数百人にまで減ってしまったこともあります。夏目漱石は3歳の時に天然痘に罹患し、死は免れたものの顔に瘢痕が残ってしまいました。そのため、漱石はこの瘢痕が目立たないよう写真を選別したと言われており、写真のほとんどが左側を前にしているのもそのためと言われています。

日本でも1976年までは天然痘の定期接種がありました。現代で天然痘に感染する心配がないのは、先人たちが確立したワクチンによる集団免疫のおかげです。

ワクチンも （予防接種）知ろう



ワクチンは、病原体の毒性を弱めたり失ったりしたものを接種することで、免疫力を高め、感染症を予防するためのものだよ。

私は体が丈夫だから打たなくても大丈夫だもん。注射も怖いし、変なものを体に入れたくないよ～。



ワクチンは自分を病気から守るだけじゃなくて「**集団免疫**」を獲得するためのものでもあるんだ。集団免疫とは、人口の一定割合以上の人が免疫を持つことで、感染症が流行しなくなる状態のこと。**社会全体でワクチンを接種する人が増えれば、免疫を持つ人が増え、感染症の流行を抑えることにつながるんだ。**集団免疫効果が発揮されれば、さまざまな事情でワクチンを打つことができない人を感染症から守ることもできるんだよ。

ワクチンによっては副反応が出やすいものもあります。強いアレルギーのある人や、持病のある人、特別な薬を飲んでいる人は、医師と相談し接種しましょう。



習慣にしよう！

感染予防の基本は手洗い

東京都島しょ保健所小笠原出張所